

徳島県立文書館 公開古文書一覧（令和3年度版）

金原 祐樹

2014年（平成26）10月に発刊した『文書館紀要』第6号に公開古文書一覧を掲載してから、早くも7年が経過した。公開資料は増加し、改訂が必須の状況となった。

本一覧は、徳島県立文書館が、保存し公開している古文書資料について、史料群ごとに出所・来歴・数量。年代・内容等を概括的に記した概要目録である。当館の公開古文書は、ホームページの中にあるデータベースや、閲覧室に備えられている資料目録を利用して閲覧することはできるが、公開古文書が増加してきた現在では、文書館が所蔵する各古文書の概要を掴むことは難しくなっている。そこで、公開している分だけでも、文書群ごとの概要を掴むことができる一覧をと企画し、作成に至った。

徳島県立文書館では、2021年（令和3）12月現在、226家の古文書を各地から寄贈・寄託又は購入の形で収集し、データベースには220,154点の古文書が入力されているが、まだ未整理の資料も多い。これは1990年（平成2）の開館以来、歩みは遅いながらも積み上げてきたものである。このうち、整理・公開している古文書は、2014年度の段階では54家だったものが、76家に増加している。また、資料の利用も飛躍的に進んでいる。今回は22家を追加すると共に内容の改訂を行った。今後も当初の目標どおりさらに改訂を加え、徳島県立文書館が所蔵する古文書の総覧を目指したいと考える。

凡例

記号 カタカナ3文字もしくはカタカナ2文字+数字は、文書群の記号である。徳島県立文書館の古文書の史料番号は全て、この記号+5桁の数字+3桁の数字で表されている。今回増加分には※を付した。

家名 文書群の名称。

- 1 地名・出所
文書が伝来した地名および旧地名、旧所蔵者名。
- 2 役職・身分
文書が伝来した家の役職等。
- 3 来歴
文書がどのように徳島県立文書館に入り、どのような状態にあるかを簡潔に記述。
- 4 伝来
文書が過去からどのように伝来してきたかを簡潔に記述。
- 5 数量
文書の数量と、公開点数。
- 6 年代
文書に含まれる資料の年代。
- 7 構造と内容
文書の構造と内容を簡潔に記述。
- 8 出版および関連資料
文書を利用した出版物や関連資料を記述。

アイハ

粟飯原家文書（名西郡神山町）

- 1 地名・出所
名西郡神山町上分（名西郡上分上山村）粟飯原家
- 2 役職・身分
上分上山村庄屋、上分上山村長
- 3 来歴
寄託文書（神山町所蔵）、神山町郷土館（旧館）より移管
- 4 伝来
上分上山村庄屋粟飯原家に伝来。神山町教育委員会所管の神山町郷土館に寄贈される。2008年（平成20）、神山町郷土館移転の際に徳島県立文書館に移管される。
- 5 数量
2,193点 内2,169点公開
- 6 年代
1652年（承応元）～昭和初期

7 構造と内容

大栗山の最西部上分上山村の庄屋粟飯原家としての村政関係文書が主、近世文書は1652年(承応元)写しの「名西郡之内大栗六ヶ村政所行人改御帳」を始め、帳簿(検地帳・棟付帳は一部写しのみ)、年貢上納、蕎麦・麦の種拝借、郷蔵の管理運営、産業として紙漉や山藍に関する文書、田畠売買や金銭貸借の証文、その外書簡、四国巡拝、弥十郎騒動関係文書、漢詩関係などの文書を含む。「勝浦川筋廻覧帳」は1843年(天保14)水害の具体的な記録として貴重である。近代文書としては上分上山村村長を務めた粟飯原太郎兵衛関係の文書等を含む。また、文書館資料に原本は含まれていないが、江戸時代後期の粟飯原庄太夫の日記「日暦」を神山町教育委員会が保管している。

8 出版および関連資料

神山町史編さん委員会『神山町史』上巻2005, 門田万寿美「近世徳島藩山村社会の女性－名西郡上山村上分の場合－」『鳴門史学』第20集2006, 文書館だより37号4頁, 文書館の逸品展「古文書が語る神山の歴史」図録2017, 文書館の逸品展「山の産業」図録2019, 小酒井大悟「棟付帳に見る阿波の村」『近世村の生活史－阿波・淡路の村と人』2020, 鈴木淳世「徳島藩組頭庄屋の風俗統制－岸新左衛門有秀の場合－」『近世村の生活史－阿波・淡路の村と人』2020, 文書館の逸品展「史料に見る自然災害Ⅰ」図録2021, 『徳島県立文書館水害史料集』2021, 『天保十四年七月十七日勝浦川筋廻覧帳』2021, 金原祐樹「粟飯原庄太夫の記録に見る天保十四年の水害」『徳島県立文書館研究紀要第8号』2021

アキモ

秋本家文書(那賀郡那賀町)

1 地名・出所

那賀郡那賀町小仁宇(那賀郡小仁宇村)秋本家

2 役職・身分

小仁宇村庄屋, 小仁宇村与頭

3 来歴

寄託文書(秋本家所蔵)

4 伝来

小仁宇村庄屋秋本家に伝来。徳島県立文書館に寄託される。

5 数量

3,392点 内3,243点公開

6 年代

1643年(寛永20)～昭和初期(小仁宇土地改良区土地台帳等)

7 構造と内容

那賀川の中流域南岸, 阿波九城のひとつ和喰城ができる以前, 和喰郷の中心的な城であった小仁宇城が置かれていた, 小仁宇村庄屋秋本家の文書。近世文書は, 村政文書として検地帳・棟付帳, 年貢上納, 那賀川の水害に伴う用水(新用水・今川用水)・堤防などの勸農普請, 江戸村役, 林方関係, 筍皮運上, 那賀川鮎運上, 那賀川筋番茶運上, 四国遍路対応, 安宅木材, 1819年(文政2)仁宇谷一揆関係文書がある。その外, 暇証文, 金銭貸借, 土地証文, 宗教として太龍寺関係文書などを含む。近代文書としては, 小仁宇村与頭を勤めた秋本和三郎関係文書, 大正期の小仁宇耕地整理組合文書などがある。

8 出版および関連資料

文書館だより12号3頁, 13号3頁, 14号3頁, 21号1頁, 3頁, 6頁, 第28回企画展「資料に見る徳島の自然災害」図録2004, 金原祐樹「近世阿波仁宇谷諸産物の統制」『高橋啓先生退官記念論文集 地域社会史への試み』2004, 第34回企画展「古文書の中の子ども」図録2008, 文書館の逸品展「秋本家文書」図録2008, 文書館の逸品展「秋本家文書史料解説集」2008, 文書館の逸品展「山の産業」図録2018, 『徳島県立文書館水害史料集』2021

アヘケ

阿部家文書(名西郡石井町)

1 地名・出所

名西郡石井町上浦(名西郡上浦村)阿部家

2 役職・身分

上浦村庄屋

3 来歴

寄贈文書（阿部家より）、徳島県立図書館より移管

4 伝来

上浦村庄屋阿部家に伝来。徳島県立図書館（旧館）に寄贈。1990年（平成2）徳島県立文書館に移管される。

5 数量

145点 内143点公開

6 年代

1718年（享保3）～明治初期

7 構造と内容

名西郡と麻植郡の郡境、石井町の最も西部にあり、伊予街道の通る上浦村庄屋阿部家の文書。近世文書は1718年（享保3）の暇証文を始めに、四国遍路対応等の村政文書と、婚礼・葬式や土蔵普請についての帳簿などの家政文書を含む。近代文書は、藍商、婚礼献立などの家政文書、地券関係、各種布告、庄屋御用物引渡等の文書がある。

8 出版および関連資料

徳島県立図書館に阿部家文書有り（仮目録有り）、第28回企画展「資料に見る徳島の自然災害」図録2004、第31回企画展「江戸時代阿波の交通制度 暮らしとみち」図録2006、徳島の古文書読む会7班編『古文書が語る村人のくらし－名西郡上浦村阿部家文書－』2012、文書館の逸品展「古文書が語る石井の歴史」図録2017、第60回企画展「藍を作り藍を売る－阿波の主産業・藍－」図録2020

アマノ

天野家文書（鳴門市撫養町）

1 地名・出所

鳴門市撫養町南浜（板野郡南浜村）天野家

2 役職・身分

商家

3 来歴

購入文書、徳島県立図書館より移管

4 伝来

古書店より徳島県立図書館が購入。1990年（平成2）に徳島県立文書館に移管。

5 数量

158点 内158点公開

6 年代

1704年（宝永元）～昭和初期

7 構造と内容

鳴門市中心部を流れる撫養川沿いで塩田も広がっていた撫養南浜村の商家天野駒吉家の関係文書が大部分を占めるが、コレクション文書であり、そのほか他家の古文書も含まれている。近世文書は、天野屋駒吉の金銭貸借証文・仕切書などが中心である。明治期には、商家の文書として他国米の売買仕切り書、足袋営業組合の文書、金銭貸借証文等と、天野家が所持していた地券等を含む。

8 出版および関連資料

－

アマ2

天野家文書（名西郡石井町）

1 地名・出所

名西郡石井町覚円（名西郡西覚円村）天野家

2 役職・身分

商家（藍商）

3 来歴

寄贈文書（天野家より、一部購入文書）

4 伝来

徳島県立文書館で古書店より直接購入。その後、天野家より追加で文書の寄贈を受ける。

5 数量

908点 内902点公開

6 年代

1657年（明暦3）～昭和初期年代

7 構造と内容

吉野川と神宮入江川に挟まれたデルタ地帯にある西覚円村の天野家文書。一部近世前期の1657年（明暦3）棟付帳写しを含み年貢上納等の村政文書である。家政文書としてまた田畠証文等もある。しかし、大部分は藍商藍屋儀兵衛としての経営帳簿が占める（葉藍調日記、金銀出入帳）。その他享保期の西覚円村と高原村の村境確定の絵図などがある。明治期には甲斐（現山梨県）売りを含む藍関係、干鰯等の肥料関係

文書のほか、土地証文、金銭貸借証文などがある。また、吉野川支流の神宮入江川を堰き止めるための八ヶ村関修繕に関する文書などを含む。

8 出版および関連資料

文書館だより9号7頁、第15回企画展「吉野川中下流域の豪農－藍師 天野家文書より－」図録1998、「〔八ヶ村堰訴訟事件〕の顛末－明治初期・吉野川治水を巡る紛争について－」『三好昭一郎先生古希記念論集 社会と信仰 阿波からの視点』1999、特別企画展「暮らしの中の吉野川」図録2010、文書館の逸品展「古文書が語る石井の歴史」図録2017、第60回企画展「藍を作り藍を売る－阿波の主産業・藍－」図録2020

イウチ

井内家文書（吉野川市美郷）

1 地名・出所

吉野川市美郷別枝山（麻植郡別枝山）井内家

2 役職・身分

－

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

吉野川市別子山の井内家に残っていた資料を、直接徳島県立文書館が寄贈を受ける。

5 数量

62点 内62点公開

6 年代

1832年（天保3）～大正期

7 構造と内容

教科書、江戸時代末期から大正時代にかけての和本、手習い手本、尋常小学校教科書、算術、和歌、俳句、浄瑠璃稽古本などを含む。

8 出版および関連資料

－

イクチ

井口家文書（三好郡東みよし町）（上月文書）

1 地名・出所

三好郡東みよし町三加茂（三好郡三加茂村）

井口家（上月文書）

2 役職・身分

播磨国佐用郡上月城主、徳島藩大西在番、白地御番

3 来歴

寄託文書（井口家所蔵）

4 伝来

東みよし町三加茂の井口家に伝わっていた文書を徳島県立文書館が直接預かった。その後、2003年（平成15）に寄託された。「南方御退治上々」のみ徳島県指定文化財となっていたが、2012年（平成24）6月1日全て一括して徳島県指定文化財となる。

5 数量

182点 内182点公開

6 年代

1352年（観応3）～昭和初期

7 構造と内容

播磨国佐用郡上月城主で播磨国人の上月家関係の文書と、蜂須賀家家臣で、現在に繋がる井口家の関係文書を含む。いわゆる上月文書は、赤松家の重臣で播磨国（兵庫県）佐用郡上月城主でもあった上月家の室町・戦国期の古文書。1352年（観応3）から足利尊氏が上月新兵衛に与えた一連の感状があるが写しである。原本としては1419年（応永26）上月甲斐守入道聖義（吉景）の讓状をはじめ、嘉吉の乱で一旦滅亡した赤松家を再興した、赤松政則・晴政・義祐・則房らが発給した文書、嘉吉の乱で滅亡した赤松家の遺臣（上月満吉を含む）が主家再興のため南朝方に奪われた神爾を奪還した顛末を記した「南方御退治条々」、別所・浦上・小寺・楠橋ら、播磨国人達の感状や書状が含まれている。さらに、近世文書としては、蜂須賀至鎮・光隆・忠英らの書簡や江戸時代以来伝来してきた三好郡加茂村の井口家の成立書等を含む。昭和初期の文書は、東京大学史料編纂所の資料借用証等。

8 出版および関連資料

現在一括して、徳島県文化財指定を受けている。上月文書については『兵庫県史資料編中世9』に解説がある。『群書類従』第21輯合戦部

に「南方御退治条々」が含まれる。第8回所蔵資料紹介「中世城主上月家の花押－井口家文書を中心に－」図録1994, 第26回資料紹介展「上月文書に見る戦乱の世」図録2003, 金原祐樹「井口家文書（上月文書）の近世文書と伝来」『徳島県立文書館紀要』第4号2003, 中野栄夫「上月文書にみられる『足利尊氏発給』文書について」『法政史学』第55号2001, 徳野隆「上月文書の世界」徳島県立図書館『阿波学会紀要』第59号2013

イケヘ

池辺家文書（徳島市）

1 地名・出所

徳島市南佐古（徳島城下南佐古）池辺家（池辺真榛関係文書）

2 役職・身分

国学者

3 来歴

寄託文書（池辺家所蔵）

4 伝来

南佐古の池辺家に伝わっていた資料を2005年（平成17）徳島県立文書館に寄託された。

5 数量

36点 内32点公開

6 年代

1854年（嘉永7）～昭和期

7 構造と内容

幕末の阿波の国学者である池辺真榛の関係資料。池辺真榛自身の書簡・短冊や主著である「古語拾遺新註」の手書き原稿のうち巻2～4の3冊がある。その他池辺真榛の著作などを含む。

8 出版および関連資料

飯田義資『池辺真榛大人伝』1940, 飯田義資『池辺真榛』1944, 文書館だより25号6頁

イタミ

伊丹家文書（徳島市大松町）

1 地名・出所

徳島市大松町高曽根（勝浦郡大松村）伊丹家

2 役職・身分

勝浦郡勝占村会議員

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

徳島市大松の伊丹家に伝来していた文書を直接徳島県立文書館が寄贈を受ける。

5 数量

452点 内452点公開

6 年代

1892年（明治25）～昭和期

7 構造と内容

徳島市南部, 勝浦川北岸で小松島市江田に隣接する大松村の伊丹家文書は, 明治中期の教科書（中学校）を始めとして, 明治, 大正期に勝浦郡勝占村（現徳島市）の村会議員であった伊丹喜久次の文書が中心である。勝占村農会, 勝占村信用購買組合など農業畜産関係の文書がある。また, 養蚕組合長として鴨島にあった片倉紡績工場とのやりとり等が含まれる。

8 出版および関連資料

第36回企画展「近代阿波の養蚕－藍から繭へ－」図録2009

イチミ※

一宮家文書（徳島市入田町）

1 地名・出所

徳島市入田町（名西郡入田村）一宮家

2 役職・身分

郷鉄砲小頭

3 来歴

寄託文書（一宮家所蔵）

4 伝来

徳島市入田町の一宮家に伝来していた文書を, 2016年（平成28）直接徳島県立文書館が預かる。同年寄託となる。

5 数量

218点 内212点公開

6 年代

1657年（明暦3）～昭和初期

7 構造と内容

戦国期阿波の国人である一宮成助の系譜であ

る系図を持つ。藩政初期に名西郡の郷鉄砲小頭となり、江戸時代を通じて勤めている。剣術・砲術など武術の免許状や、家の側に射撃場を持ち、稽古に関する文書が含まれるなど郷鉄砲小頭に関わる史料がある。一方土地証文や林産物運上など家の経営に関する文書も含まれている。

8 出版および関連資料

文書館だより38号6頁、金原祐樹「郷鉄砲の成立と展開－名西郡入田村一宮家文書を中心に－」『徳島県立文書館紀要』第7号2017

イヌフ

犬伏家文書（板野郡藍住町）

1 地名・出所

板野郡藍住町東中富（板野郡東中富村）犬伏家

2 役職・身分

東中富村庄屋、藍・葉などの商人

3 来歴

寄託文書（犬伏家所蔵）

4 伝来

藍住町東中富の犬伏家に伝来していた文書を、2005年（平成17）直接徳島県立文書館が預かる。翌年寄託となる。

5 数量

1,499点 内1,193点公開

6 年代

1618年（元和4）～近世末期

7 構造と内容

吉野川第十堰の北、旧吉野川と吉野川に挟まれた地域である東中富村の庄屋文書。藍・葉などの商人としての文書もある。近世文書は、1618年（元和4）の「板東郡中富村荒御検地帳」を始めに17世紀の文書が200点以上あり、年貢上納・棟付帳・吉野川流木に関する文書を含む。17世紀以降の近世文書には年貢取立帳、雑穀取立帳、菜種・胡麻・大豆の取立帳、江戸人足、勧納普請（河川・用水等）等の文書がある。また、葉・藍などの商業に関わる万覚日記帳や、金銭貸借証文を含む。

8 出版および関連資料

第45回企画展「吉野川と阿波藍」図録2012、

渡辺尚志「吉野川流域の村の十七世紀－土豪家の相続問題を中心に」『近世村の生活史 阿波・淡路の村と人』2020、文書館だより30号7頁、
『徳島県立文書館水害史料集』2021

イノウ※

井上家文書（阿南市）

1 地名・出所

小松島市（勝浦郡小松島浦）→阿南市辰巳（那賀郡辰巳新田）→徳島市

2 役職・身分

小松島浦の藍商、小高取、辰巳新田名主

3 来歴

寄託文書（井上家所蔵）

4 伝来

勝浦郡小松島浦（現小松島市）の商家井上家は、安政地震の際に家を焼き、本拠を那賀郡辰巳新田（現阿南市辰巳）に移した。その後辰巳新田から徳島市の井上家に移されていた文書の一部を徳島県立図書館が寄託を受けた。その後1990年（平成2）に徳島県立文書館へ移管され、さらに追加文書を預かり、整理作業後、2016年（平成28）に寄託契約を結んだ。

5 数量

12,310点 内3,390点公開

6 年代

1640年（寛永17）～昭和期

7 構造と内容

明治維新时期以降の文書については、寄託契約内容によって、現在は未公開となっている。

井上家は小松島を本拠としていた藩の特権商人である寺沢家の一族で、江戸中期には廻船商人として、関東・駿河・甲斐・信濃・土佐などの売り場を持っていた藍商である。駿河国沼津や江戸に支店を持ち、藍販売に関する経営帳簿などがある。また、天保期頃には那賀川河口の辰巳新田の開発を行い新田開発名主となっており、安政の南海地震で小松島浦の本家を焼いた以降、本拠を辰巳に移し名主会所を中心に家を守っていた。辰巳新田・豊益新田外地主経営に関する史料も含んでいる。

8 出版および関連資料

天野雅敏『阿波藍経済史研究』第2章1986, 文書館だより3号7頁, 5号7頁, 38号6頁, 40号1頁, 第3回企画展「明治の留学－井上家文書を中心に－」図録1991, 第7回企画展「辰巳新田の開発－井上家文書を中心に－」図録1993, 第13回企画展「阿波商人鹿島屋－小松島・井上家文書より」図録1996, 金原祐樹「近世阿波仁宇谷諸産物の統制－那賀郡中島浦を中心として－」『地域社会史への試み：高橋啓先生退官記念論集』2004, 第45回企画展「吉野川と阿波藍」図録2012, 文書館の逸品展「阿波の干拓新田－新田絵図を中心に－」図録2018, 第60回企画展「藍を作り藍を売る－阿波の主産業・藍－」図録2020, 松永友和「阿波藍をめぐる藍商・紺屋と藩政の動向－藍商手塚家・井上家を中心に」『徳島発展の歴史的基盤 「地力」と地域社会 地方史研究協議会第68回大会成果論集』2018, 『徳島市史』第6巻2020, 『徳島県立文書館水害史料集』2021

ウメハ

梅林家文書（徳島市応神町）

1 地名・出所

徳島市応神町（元は徳島市富田）梅林家（梅林孝次関係文書）

2 役職・身分

軍人

3 来歴

寄託文書（梅林家所蔵）

4 伝来

徳島市応神町の梅林家に伝来していた文書を、2007年（平成19）1月に預かり、2011年（平成23）5月に寄託される。

5 数量

2,265点 内1,931点公開

6 年代

1882年（明治15）～昭和期

7 構造と内容

1937年（昭和12）8月上海事変が始まると、日本海軍は中国南部の都市に渡洋爆撃を行った。梅林孝次はこの渡洋爆撃に機長として参加

し江蘇省揚州で戦死した。海軍省による戦死の発表後、マスコミより大きく取り上げられ「軍神」として喧伝される。梅林孝次自身の遺品、報道の様子を知る史料、「軍神」として称揚されている時期の印刷物やレコード、さらに全国から寄せられた手紙などを含む。

8 出版および関連資料

文書館だより32号8頁, 第40回企画展「軍神とその時代－梅林孝次関係資料から－」図録2010, 徳野隆「創り上げられる「軍神」像」『徳島地方史研究会創立50周年記念論集 阿波・歴史と民衆 5 地域社会と権力・生活文化』2021

エント

遠藤家文書（那賀郡那賀町）

1 地名・出所

那賀郡那賀町谷内（那賀郡谷内村）遠藤家（妙法寺・遠藤信円氏収集資料）

2 役職・身分

妙法寺住職・郷土史家

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

那賀町谷内の妙法寺の住職遠藤家に伝わった文書を、徳島県立文書館が直接寄贈を受けた。

5 数量

767点 内734点公開

6 年代

1525年（大永5）～昭和期

7 構造と内容

那賀川中流域（旧相生町）北岸の山間部、那賀町谷内の妙法寺の住職であった故遠藤信円氏が、郷土史研究者として周辺の地域から収集した近世期を中心とした原文書、または模写した文書が主である。コレクション資料である。その外、妙法寺の関連文書や経典類、遠藤家の家政文書が一部含まれる。周辺の検地帳・棟附帳および宗門人別帳などが含まれる。模写資料のほとんどは昭和初期から30年代にかけて作成されている。

8 出版および関連資料

第20回企画展「阿波の古文書パート1 棟付帳」図録2000

オオア

大栗家文書（名西郡神山町）

1 地名・出所

名西郡神山町神領（名西郡神領村）大栗家（大栗太郎兵衛収集文書）

2 役職・身分

神領村庄屋・郷土史家

3 来歴

寄託文書（大栗家所蔵）

4 伝来

神領村で一時期庄屋を務めていた大栗家に伝来した文書を、徳島県立文書館が2001年（平成13）に直接寄託を受ける。検地帳・棟付帳などの文書は徳島県立博物館が購入し所蔵している（文書については徳島県立文書館でマイクロフィルムを作成し所蔵している。）。

5 数量

567点 内559点公開

6 年代

1664年（寛文4）～大正期

7 構造と内容

鮎喰川沿いで神山の中心的地域である神領村で一時期庄屋を務めていた大栗家に伝来した文書、および明治期に大栗家の当主であり、郷土史研究家であった故大栗太郎兵衛氏によって収集された、神領村（神領村組頭庄屋岸家の古文書等）の文書、和本、漢籍を含んでいる。

8 出版および関連資料

徳島県立博物館所蔵資料に大栗家文書あり。文書館だより18号5頁、22号1頁、37号4頁、第25回資料紹介展「歴史の宝箱 Part2 文書館・公文書館の役割」図録2003、神山町史編さん委員会『神山町史』上巻2005、文書館の逸品展「江戸時代阿波人の見た世界地図・日本地図」図録2011、文書館の逸品展「古文書が語る神山の歴史」図録2017、羽山久男「阿波山分の分問絵図と水害景観－名西郡神領村を中心に」『近世村の生活史 阿波・淡路の村と人』2020、鈴木淳

世「徳島藩組頭庄屋の風俗統制－岸新左衛門有秀の場合－」『近世村の生活史－阿波・淡路の村と人』2020、文書館の逸品展「史料に見る自然災害Ⅰ」2021

オオク

大久保家文書（美馬郡つるぎ町）

1 地名・出所

美馬郡つるぎ町半田（美馬郡半田村）大久保家

2 役職・身分

半田村商人（大久保太兵衛、敷地屋太兵衛家（略称敷太家））

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

近世以来の半田村の商家であった大久保家に伝来していた文書を、1988年（昭和63）徳島県立図書館が寄贈を受け、1990年（平成2）徳島県立図書館に移管された。

5 数量

1,562点 内1,562点公開

6 年代

1641年（寛永18）～昭和期

7 構造と内容

吉野川と祖谷などの山間部を結ぶ交通の要地として栄えた半田村の代表的な商家文書。敷地屋太兵衛家（略称敷太家）文書。有物勘定帳など帳簿、酒株および油株の運用、塗物（半田漆器）に関わる文書、大坂で豪商となった親戚の荘保勝蔵関連文書、大久保家の親族組織である陸講関連文書などがある。このほか、半田に開かれた心学講社である根心舎に関わる文書を含む。また漢籍・和本（教科書・医術・薬学の本）も多数ある。

8 出版および関連資料

文書館だより4号5頁、6頁、第6回企画展「阿波の心学－大久保家文書を中心に－」図録1993、名倉佳之「京都明倫舎と阿波の石門心学」『三好昭一郎先生古希記念論集 社会と信仰・阿波からの視点』1999、第31回企画展「江戸時代阿波の交通制度 暮らしとみち」図録2006、文書館の逸品展「江戸時代阿波人の見た世界地

図・日本地図」図録2011

オオシ※

大島田村文書（鳴門市瀬戸町）

- 1 地名・出所
鳴門市瀬戸町（板野郡大島田村）石坂家か。
- 2 役職・身分
大島田村庄屋か。
- 3 来歴
購入文書
- 4 伝来
板野郡大島田村庄屋石坂家の文書か。
2008年（平成20）に徳島県立文書館が購入。

5 数量
221点 内210点公開

6 年代
1674年（延宝2）～明治前期

7 構造と内容
鳴門市の北東大毛島に含まれる大島田村の庄屋石坂家に伝来した古文書と思われるが、購入文書のため不詳。年貢・棟付・林方・土地証文などの村政文書が中心で、大毛村に置かれていた藩の牧場である大毛牧の史料が含まれる。

8 出版および関連資料
文書館だより37号4頁、町田哲「『鳴門辺集』にみる十八世紀末の鳴門・撫養地域－鳴門海峡をのぞむ大毛山を中心に－」『『鳴門の渦潮』世界遺産登録学術調査報告書～文化編～』2017

オカタ

緒方家文書（美馬市穴吹町）

- 1 地名・出所
美馬市穴吹町口山宮内名（美馬郡口山村）緒方家
- 2 役職・身分
美馬郡口山村庄屋
- 3 来歴
寄贈文書
- 4 伝来
緒方家に伝来した文書を、2011年（平成23）直接徳島県立文書館に預かる。

5 数量
96点 内91点公開

6 年代
1750年（寛延3）～昭和初期

7 構造と内容
宮内名にある白人宮関連の文書を中心に、一部口山村村政文書を含む。緒方由根熊取物語（天保2年）、地方知行手引草（文政元年）、白人大明神由緒書（安永8年）、白人宮社内杉檜植付土地植木見方帳（文政元年）、白人幣殿拝殿葺替控へ（文政元年）などの帳簿を含んでいる。

8 出版および関連資料
文書館だより37号4頁

オノテ

小野寺家文書（美馬郡つるぎ町貞光）

- 1 地名・出所
美馬市つるぎ町貞光（美馬郡貞光村）小野寺家
- 2 役職・身分
貞光村庄屋、貞光村村長
- 3 来歴
寄贈文書
- 4 伝来
美馬郡貞光村庄屋・明治期に貞光村長であった小野寺家に伝来した文書を、直接徳島県立文書館に預かる。

5 数量
888点 内879点公開

6 年代
1352年（正平7）～明治期

7 構造と内容
吉野川中流域南岸の街場のひとつであった貞光村の庄屋小野寺家に伝来した文書群である。中世文書の写しとして、1352年（正平7）後村上天皇綸旨他が10点ある。また、近世前期の文書として木屋平や祖谷などの山間の庄屋などに与えられた、徳島藩士片山権左衛門・大日向権右衛門らによる蜂須賀光隆任官の祝儀披露に対する返状などが9点ある。その他の近世文書は、金銭貸借証文・質地証文や由緒書など、家政文書が中心である。明治期には貞光村の戸長、後に村長を勤めた小野寺庫雄の文書が中心

で、村政として道路や学校の新設、村の予算書、個人の辞令や書簡・金銭貸借証文などが含まれている。

8 出版および関連資料

文書館だより37号4頁、第34回企画展「古文書の中の子ども」図録2008、文書館の逸品展「資料に見る徳島の食」図録2014、文書館の逸品展「山の産業」図録2018

カナイ※

金磯新田文書（小松島市）

1 地名・出所

小松島市金磯町（勝浦郡金磯新田）

2 役職・身分

金磯新田名主・小高取多田家旧蔵か

3 来歴

購入文書

4 伝来

2014年（平成26）徳島県立文書館が古書店より直接購入。

5 数量

166点 内163点公開

6 年代

1702年（元禄15）～明治期

7 構造と内容

140点余りは近世文書で、金磯新田名主多田家の村政文書が中心。金磯新田の設立及び干拓・用水普請・米年貢・萱運上・調達金・金磯新田分間図などの文書が含まれる。また、講銀などの家政文書や短冊などの文芸関係文書も含まれる。

8 出版および関連資料

文書館の逸品展「阿波の干拓新田－新田絵図を中心に－」図録2018、第60回企画展「藍を作り藍を売る－阿波の主産業・藍－」図録2020

カナツ※

金塚家（森家）文書（徳島市）

1 地名・出所

徳島市川内町（板野郡別宮浦）森家旧蔵

2 役職・身分

板野郡別宮浦庄屋

3 来歴

金塚氏より寄贈文書

4 伝来

別宮浦森家文書を金塚氏が購入。金塚氏のコレクション文書の整理後2021年（令和3）徳島県立文書館に寄贈。

5 数量

4,604点 内4,444点公開

6 年代

1585年（天正13）～昭和初期

7 構造と内容

4,000点余りは近世文書で、別宮浦庄屋森家の村政文書が中心。別宮浦の庄屋として、年貢・棟付・検地・勸農普請・宗門人別・水主・漁業運上・災害等の文書を含む。また、藍の売買や講銀など家政に関する文書も含む。さらに、明治期に徳島県会議員・板野郡会議員であった森苞樹の文書がある。

8 出版および関連資料

文書館だより37号4頁、『徳島市史第6巻』2020

カワノ

河野家文書（板野郡板野町）

1 地名・出所

板野郡板野町（板野郡矢武村）田村家旧蔵

2 役職・身分

板野郡矢武村商人

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

神山町河野家に伝来していた文書を直接徳島県立文書館に預かる。

5 数量

116点 内116点公開

6 年代

1760年（宝暦10）～大正期

7 構造と内容

板野郡矢武村田村家宛の金銭貸借証文、田畠証文、年貢受取証、干鯛関係などの他、手習い手本や家政関係の文書によって成る。（コレクション文書）

8 出版および関連資料

第60回企画展「藍を作り藍を売る－阿波の主産業・藍－」図録2020

カワマ

川真田家文書（吉野川市）

1 地名・出所

吉野川市鴨島町（麻植郡鴨島町）川真田家

2 役職・身分

地主・商家

3 来歴

購入文書

4 伝来

1995年（平成7）に徳島県立文書館が古書店より直接購入。

5 数量

1,501点 内1,498点公開

6 年代

1796年（寛政8）～明治期

7 構造と内容

近世文書は130点余。鴨島村鹿島屋（川真田）与右衛門・快右衛門の商業文書（酒造株、藍方、金銭貸借等）。拝知水帳の写。四国遍路関係文書などを含む。近代文書（明治期）は鴨島村鹿島屋川真田吉五郎の商業文書（藍方、鯀粕等肥料、造酒、金銭貸借等）。家政文書。川真田吉五郎は鴨島村戸長も勤めており、鴨島村役場や鴨島小学校に関する文書や江川改修処に関する文書などを含む。

8 出版および関連資料

－

カンタ

勘田家文書（那賀郡那賀町）

1 地名・出所

那賀郡那賀町百合（那賀郡百合村）勘田家

2 役職・身分

那賀郡百合村庄屋

3 来歴

寄託文書（勘田家所蔵）

4 伝来

百合村庄屋勘田家に伝来した文書を徳島県立

文書館が直接預かる。2001年（平成13）に寄託契約。

5 数量

1,185点 内1,178点公開

6 年代

1706年（宝永3）～昭和中期

7 構造と内容

那賀川中流域、小仁宇村の南に位置する那賀郡百合（もまい）村の庄屋勘田家の文書。近世文書は110点余で、庄屋勘田倍蔵による庄屋役としての年貢上納、山林管理、仁宇谷産物等に関する文書。百合村戸長・村長である勘田準平に関わる村政・租税関係の文書、鷺敷町助役関係文書等を含む。

8 出版および関連資料

文書館だより21号3頁, 22号6頁, 24号6頁, 金原祐樹「近世阿波仁宇谷諸産物の統制－那賀郡中島浦を中心として－」『地域社会史への試み 高橋啓先生退官記念論集』2004, 文書館の逸品展「資料に見る徳島の食」図録2014, 文書館の逸品展「山の産業」図録2019

キシケ※

岸家文書（名西郡神山町）

1 地名・出所

名西郡神領村（名西郡神山町）岸家

2 役職・身分

神領村組頭庄屋・儒学者

3 来歴

寄託文書（岸家所蔵）

4 伝来

高知県高知市にお住まいの岸氏から直接寄託を受ける。

5 数量

297点 内297点公開

6 年代

1725年（享保10）～大正期

7 構造と内容

岸家は、近世中期から名西郡神領村の組頭庄屋を務めた家である。江戸時代後期には、岸白堂・粟里という在村の儒学者が出て、徳島藩儒などと幅広い交流があった。特に徳島藩需から

江戸幕府の儒者となった柴野栗山の書簡が多数含まれている。また、徳島藩需の柴野碧海・前川秋香・新居水竹らや大坂の儒家篠崎小竹、豊後国日田（大分県）の儒学者広瀬淡窓らの書簡も含む。

8 出版および関連資料

神山町史編さん委員会『神山町史』上巻2005

キスノ

木津野村文書（鳴門市）

1 地名・出所

鳴門市大麻町木津野（板野郡木津野村）（木津野村区有文書）

2 役職・身分

板野郡木津野村（大津村）区有文書

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

板野郡木津野村および大津村で区有文書として持ち回りで伝来していた古文書を岡氏から直接徳島県立文書館に寄贈。

5 数量

466点 内375点公開

6 年代

1652年（慶安5）～昭和期

7 構造と内容

旧吉野川の北、吉永村の西に位置する板野郡木津野村の区有文書。近世文書は24点で、近世文書は検地帳・棟附帳および悪水出入等の村政文書。近代文書は、木津野村、1889年（明治22）以降は大津村の出張所として、村の規約書、新池川の堤防・道路等の土木協議費に関する帳簿など。その外斉田村大池七ヶ村組合の水門工事、護岸工事、漁業権などの文書を含む。

8 出版および関連資料

文書館だより2号7頁、宮本和宏「棟付帳の成立」『徳島県立文書館研究紀要第8号』2021

キノウ

木内家文書（板野郡藍住町）

1 地名・出所

板野郡藍住町富吉（板野郡竹瀬村）木内家

2 役職・身分

竹瀬村庄屋

3 来歴

寄託文書（木内家所蔵）

4 伝来

竹瀬村庄屋木内家に伝来していた文書が1959年（昭和34）徳島県立図書館へ寄託され、1996年（平成8）に徳島県立文書館に移管される。2001年（平成13）に寄託契約。

5 数量

3,071点 内2,997点公開

6 年代

1604年（慶長9）～大正期

7 構造と内容

吉野川と旧吉野川に挟まれたデルタ地帯にある竹瀬村の庄屋木内家に伝来した文書群。近世文書は1604年（慶長9）の検地帳から始まり、新開検地帳・川成癒上帳・棟付帳ほか、年貢上納・調達金・勸農普請（用水・堤防等）・巡見使関係の文書が含まれる。近代文書としては、藍の売買に関する木内兵右衛門商店の文書が多い。

8 出版および関連資料

文書館だより20号6頁、23号6頁、24号1頁3頁、27号6頁、35号8頁、武知忠義「阿波北方における近世農村の成立過程－徳島藩板野郡竹瀬村を中心として－」『阿波学会郷土研究発表紀要』13号1967（後に三好昭一郎編『徳島藩の史的構造』名著出版1975に転載）、徳野隆「幕末期・藍作地帯に於ける一村落の研究」徳島地方史研究会『史窓』16号1985、徳野隆「近世後期商品作物地帯における社会変動について」徳島地方史研究会編『阿波・歴史と民衆II』1990、第25回企画展「阿波の古文書パート3 近世社会を創出した文書検地帳」図録2002、第27回企画展「褒められた人々－江戸時代阿波の褒状－」図録2003、宇山孝人「阿波藩における年貢徴収のしくみと検地帳－春請制を中心に－」『徳島県立文書館紀要第4号』2003、特別企画展「歴史資料に見る阿波の人形浄瑠璃」図録2004、第30回企画展「庄屋さんのお仕事」図録2005、徳野隆「『為後年書記』すべき文書とは」『徳島県

立文書館紀要第5号』2005, 第34回企画展「古文書の中の子ども」図録2008, 第36回企画展「近代阿波の養蚕－藍から繭へ－」2009, 特別企画展「暮らしの中の吉野川」図録2010, 第45回企画展「吉野川と阿波藍」図録2012, 徳野隆「幕末維新期藍作地帯における村方紛争－阿波国板野郡竹瀬村を中心に－」『徳島県立文書館紀要第7号』2017, 第60回企画展「藍を作り藍を売る－阿波の主産業・藍－」図録2020, 文書館の逸品展「史料に見る自然災害Ⅰ」2021, 『徳島県立文書館水害史料集』2021, 第63回企画展「住吉村組頭庄屋山田家と吉野川」2021

キヨシ

清重家文書（名西郡石井町）

- 1 地名・出所
名西郡石井町高川原（名西郡高川原村）清重家
- 2 役職・身分
高川原村庄屋
- 3 来歴
寄託文書（清重家所蔵）
- 4 伝来
清重家より徳島県立図書館へ寄託。1990年（平成2）に徳島県立文書館へ移管。2001年（平成13）寄託契約。
- 5 数量
48点 内48点公開
- 6 年代
1674年（延宝2）～明治期
- 7 構造と内容
石井町北部, 吉野川沿岸部に近い高川原村清重家の文書。近世文書は, 検地帳・棟付帳が中心。また外国語・算術などの和本が多い。また, 明治初年徳島藩が作った藩校長久館で教諭を務めた清重梅吉に関する辞令やガラス乾板の写真が残る。
- 8 出版および関連資料
文書館の逸品展「古文書が語る石井の歴史」図録2017

クリモ

栗本家文書（小松島市）

- 1 地名・出所
小松島市和田津（勝浦郡和田津新田）栗本家
- 2 役職・身分
和田津新田名主, 組頭庄屋, 小高取
- 3 来歴
寄託文書（栗本家）
- 4 伝来
勝浦郡和田津新田名主栗本家に伝来していた文書を, 1996年（平成8）に直接徳島県立文書館に寄託。2003年（平成15）に寄託契約。
- 5 数量
2,149点 内2,001点公開
- 6 年代
1681年（延宝9）～昭和期
- 7 構造と内容
小松島湾の南, 和田島と金磯に挟まれた海岸線に近世期に作られた干拓新田である和田津新田の新田名主である栗本家伝来の文書群。1681年（延宝9）からの和田津新田開発に関する文書控えである「諸事御答物写元控」を始めに, 元は富岡の商人であった栗本四郎兵衛が, 和田津の土地に移り住み, 新田開発を進めていく過程の文書・絵図が揃っている。新田開発を進めるに当たっての, 徳島藩とのやりとりや, 隣村との境界線の決定, 宝永・嘉永の南海地震後の復興や困難, 新田小作や年貢の上納, 棟付帳などの村政史料が中心である。3代目栗本茂兵衛の時組頭庄屋となり周辺の村関係の文書や幕府巡見使や藩主巡見への対応についての文書が含まれる。
- 8 出版および関連資料
文書館だより23号1頁, 31号3頁, 33号7頁, 第18回企画展「和情津新田の成り立ち－栗本家文書より－」図録1999, 第21回資料紹介展「鷹狩りと御旅所－小松島市栗本家文書中心に－」図録2001, 第23回資料紹介展「阿波の古文書パート1 訴状・裁判文書」図録2002, 第27回企画展「褒められた人々－江戸時代阿波の褒状－」図録2003, 第28回企画展「資料に見る徳島の自然災害」図録2004, 第31回企画展「江戸時代阿波

の交通制度 暮らしとみち」図録2006, 文書館の逸品展「新田名主栗本家の古文書」図録2013, 「新田名主栗本家の古文書史料解説集」2013, 文書館の逸品展「資料に見る徳島の食」図録2014, 第54回企画展「徳島の塩業」図録2016, 『徳島県南海地震史料集』2017, 文書館の逸品展「阿波の干拓新田－新田絵図を中心に－」図録2018, 文書館の逸品展「山の産業」図録2019

コント

近藤家文書（名西郡石井町）

- 1 地名・出所
名西郡石井町国実（名西郡国実村）近藤家
- 2 役職・身分
国実村庄屋・組頭庄屋
- 3 来歴
寄託文書（近藤家所蔵）
- 4 伝来
国実村近藤家に伝来していた文書を、1959年（昭和34）徳島県立図書館へ寄託。1990年（平成2）徳島県立図書館へ移管。2001年（平成13）寄託契約。
- 5 数量
337点 内326点公開
- 6 年代
1604年（慶長9）～昭和期
- 7 構造と内容
石井町の中央部浦庄の北部にある国実村の庄屋・組頭庄屋であった近藤家に伝来した文書。近世期は、1604年（慶長9）の検地帳を始めに、棟付帳・年貢上納関係の帳簿等の村政文書、組頭庄屋として近隣からの報告を受けている帳簿、金銭貸借証文などが含まれている。郡代から送られた大塩平八郎の人相書きや伝馬組合に関する文書が含まれている。明治初期の文書は、国実村与頭、のち用掛となった近藤英次郎関係の資料が中心で、家政文書として地券や金銭貸借証文などがある。
- 8 出版および関連資料
文書館だより37号4頁, 第28回企画展「資料に見る徳島の自然災害」図録2004, 文書館の逸品展「古文書が語る石井の歴史」図録2017

コン2

近藤家文書（鳴門市）

- 1 地名・出所
鳴門市大麻町板東（板野郡板東村）近藤家
- 2 役職・身分
板東村庄屋
- 3 来歴
購入文書
- 4 伝来
2000年（平成12）, 古書店より徳島県立文書館が購入。
- 5 数量
1,477点 内1,470点公開
- 6 年代
1647年（正保4）～明治期
- 7 構造と内容
鳴門市西部撫養街道沿いの板野郡板東村庄屋近藤家の文書。近世文書は1647年（正保4）日開谷の番人荒井門内が書いた平島公方の妻である祐賀の切支丹詮議に関わる文書の写し（徳島の古文書を読む会6班「平島家家臣荒井家文書－切支丹祐賀一件－」参照）を始めに、年貢上納、江戸人足、伝馬役、林方、勸農普請、暇証文などの村政関係文書と、金銭貸借証文等の家政関係文書が含まれる。明治期には地券が多く残っている。
- 8 出版および関連資料
文書館だより24号3頁, 30号6頁, 徳島の古文書を読む会6班「平島家家臣荒井家文書－切支丹祐賀一件－」2007

サカイ

酒井家文書（美馬郡つるぎ町）

- 1 地名・出所
美馬郡つるぎ町半田（美馬郡半田村）酒井家
- 2 役職・身分
商家
- 3 来歴
寄託文書（酒井家所蔵）
- 4 伝来
半田村の商家酒井家に伝来していた古文書を、1994年（平成6）に直接徳島県立文書館へ

寄託される。

5 数量

1,804点 内1,804点公開

6 年代

1687年（貞享4）～大正期

7 構造と内容

吉野川中流域の河港である半田村の商人・船頭であった酒井家に伝来した文書、近世期は、1687年（貞享4）「庭訓往来」を始めに、購入して手に入れた手習い手本や、半田で講舎が作られた心学関係の和書がある。酒井武助が収集した人形浄瑠璃関係の資料、武助が作成した神社仏閣への参詣帳、婚礼や葬式の帳簿などは貴重な資料である。その子弥蔵は、文政年間から明治にかけて活動しているが、1830年（文政13）に伊勢神宮へのおかげ参りに参加したときの諸記録を始め、四国・中国地方への旅行記、春耕園農圃の名での句集など俳諧関係・人形浄瑠璃・歌舞伎・慶応年間のええじゃないかに関する記録など文化的な記録や収集物が多数含まれている。また武助に引き続き、婚礼や葬儀の帳簿や書簡類の家政文書もある。

8 出版および関連資料

文書館だより5号5頁, 6号3頁, 10号3頁, 11号3頁, 20号7頁, 38号8頁, 第11回企画展「江戸時代人の楽しみ 旅・芝居・俳句」図録1996, 特別企画展「歴史資料に見る阿波の人形浄瑠璃」図録2004, 第14回企画展「堺弥蔵人と暮らし」図録1997, 第28回企画展「資料に見る徳島の自然災害」図録2004, 特別企画展「庚午事変の群像」図録2007, 特別企画展「芭蕉をめざした男－堺弥蔵の旅日記－」図録2008, 徳島県立文書館編『酒井家文書総合調査報告書』1997, 名倉佳之「京都明倫舎と阿波の石門心学」『三好昭一郎先生古希記念論集 社会と信仰・阿波からの視点』1999, 徳島の古文書を読む会5班『史料集3 堺屋弥蔵の旅日記』2005, 金原祐樹「酒井家文書の法事帳」『徳島県立文書館紀要第3号』2002, 鬼頭尚義「寺社参詣の意識－酒井家文書から考える－」『京都精華大学紀要』44号2014, 久堀裕朗「徳島県立文書館寄託「酒井家文書」の淡路座興行記録」『演劇研究会会

報41号』2015, 『徳島県南海地震史料集』2017, 第56回企画展「明治150年 徳島の古文書で見る明治維新」図録2018, 西聡子「近世後期の地域文化と四国遍路－阿波半田地域を事例に」四国遍路と世界の巡礼研究センター紀要『四国遍路と世界の巡礼3号』2018

サカタ

坂田家文書（徳島市）

1 地名・出所

徳島市伊賀町坂田家

2 役職・身分

武家文書・教育家

3 来歴

寄託文書（坂田家所蔵）

4 伝来

城下伊賀町の藩士坂田家の文書を1995年（平成7）に直接徳島県立文書館へ寄託される。

5 数量

422点 内352点公開

6 年代

1659年（万治2）～昭和期

7 構造と内容

徳島城下の西部伊賀町の徳島藩士坂田家に伝来する文書群。1659年（万治2）の史料は「近思録」の端本である。和本類と共に、弓術や剣術などの武術の免許状や写本類の外、藩に提出した伊賀士坂田家の成立書並系図の写しがある。明治期には、徳島市内の富田尋常小学校等の教師をしていた坂田豊太郎の辞令や書簡類などがある。

8 出版および関連資料

文書館だより4号6頁

シシヤ

自助社関係文書（コレクション）

1 地名・出所

淡路か。

2 役職・身分

－

3 来歴

購入文書

4 伝来

2001年（平成13）に古書店より徳島県立文書館が直接購入。

5 数量

11点 内11点公開

6 年代

1874年（明治7）～1883年（明治16）

7 構造と内容

1874年（明治7）自助社の「結社の大意」、井上高格による「会議会場に付演説」、明治政府によって問題視され自助社から4人の国事犯としての入獄者を出した通諭書事件の発端になった「通諭書」の原本、通諭書事件における自助社社長井上高格の上告状写し、淡路の洲本自助社の広告チラシなど、徳島の明治初期における自由民権運動・自助社・普通社に関わる資料が含まれる。

8 出版および関連資料

文書館だより13号6頁、17号6頁、第22回企画展「阿波の自由民権運動」図録2001、宇山孝人「阿波の自由民権運動と自助社」四国地域史研究連絡協議会編『四国の自由民権運動』2012、文書館の逸品展「県報から見る徳島の歴史」2017

シマ3※

島（正）家文書（徳島市）

1 地名・出所

徳島市丈六町

2 役職・身分

大政翼賛会徳島市内町班

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

太平洋戦争中、大政翼賛会徳島市内町班で使用されていた教育紙芝居。所蔵されていた島氏の自宅から、2013年（平成25）に直接徳島県立文書館へ寄贈。

5 数量

28点 内28点公開

6 年代

1941年（昭和16）～1944年（昭和19）

7 構造と内容

太平洋戦争中、大政翼賛会徳島市内町班で使用されていた教育紙芝居27部と紙芝居上演台が一緒に寄贈されたもの。

8 出版および関連資料

文書館だより37号4頁、神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター『非文字資料研究叢書1 国策紙芝居からみる日本の戦争』2018

シロト

白鳥村文書（名西郡石井町）

1 地名・出所

名西郡石井町白鳥（名西郡白鳥村）

2 役職・身分

白鳥村庄屋の所蔵資料か。

3 来歴

購入文書

4 伝来

1996年（平成8）に古書店より徳島県立文書館が直接購入。

5 数量

30点 内30点公開

6 年代

1705年（宝永2）～1880年（明治13）

7 構造と内容

石井町東部、伊予街道沿いの白鳥村に関する文書群。近世文書は、1705年（宝永2）の「藪開検地帳」を始めに新開検地帳・棟付帳、宗門改帳などの村政に関わる帳簿であり、白鳥村庄屋が作成又は所持していた文書である。明治期以降の文書として1878年（明治11）の反別帳、1880年（明治13）の山林原野実地丈量図から成る。

8 出版および関連資料

—

ススエ※

鈴江家文書（徳島市）

1 地名・出所

徳島市南佐古

2 役職・身分

造園業・鈴江造園

3 来歴

寄託文書（鈴江家所蔵）

4 伝来

徳島市南佐古の造園家鈴江基倫氏の旧蔵資料を直接徳島県立文書館で2014年（平成26）預かった。

5 数量

1,007点 内418点公開

6 年代

1930年（昭和5）～昭和期

7 構造と内容

徳島市南佐古の造園家鈴江基倫氏の所蔵資料。徳島県の造園業協会、パリユネスコ庭園とイサムノグチ、徳島の造園にも影響を与えた重森三玲の関係文書などを含んでいる。

8 出版および関連資料

文書館日より37号4頁，第53回企画展「パリ・ユネスコ日本庭園と阿波の青石－鈴江基倫関係資料から－」図録2016

タカミ※

高見家文書（吉野川市山川町）

1 地名・出所

吉野川市山川町（麻植郡東川田村）

2 役職・身分

藍商・紙商・郷鉄砲・川田村村会議員・川田郵便局長

3 来歴

寄託文書

4 伝来

高見氏の居宅で所蔵していた文書を直接徳島県立文書館へ寄託を受ける。

5 数量

3,024点 内2,817点公開

6 年代

1745年（延享2）～昭和期

7 構造と内容

江戸時代後期，麻植郡東川田村（吉野川市山川町）を中心に防州（現山口県）売り藍商や紙商人として活躍しておりその文書が含まれる。

また1830年（文政13）郷鉄砲株購入の関係資料がある。明治期に入ると郵便局関係，川田特産の凍豆腐関係の資料が残る。さらに大正期には，養蚕および繭の乾燥を行う川田乾燥場の経営に関する資料を含んでいる。

8 出版および関連資料

文書館日より38号6頁，第36回企画展「近代阿波の養蚕－藍から繭へ－」図録2009，第50回企画展「徳島の養蚕と製糸」図録2014，文書館の逸品展「山の産業」図録2019，文書館の逸品展「高見家文書に見る吉野川中流域の産業」図録2018，『徳島県立文書館水害史料集』2021

タカ3※

高橋家文書（名西郡石井町）

1 地名・出所

名西郡石井町高原（名西郡高原村）

2 役職・身分

藍商

3 来歴

寄託文書

4 伝来

石井町高原の高橋家で伝来した文書を直接徳島県立文書館へ寄託を受ける。

5 数量

658点 内612点公開

6 年代

1729年（享保14）～昭和期

7 構造と内容

近世文書は，藍商池北屋としての葉藍や肥料の仕入れ，金銭貸借，頼母子講関係，藍手板紙などがある。近代文書には藍商として北陸や伊勢・尾張の売り場や地主経営に関する文書や養蚕・桑園関係の文書を含み，藍から桑への産業転換に関する文書がある。さらに吉野川の治水に重要な八ヶ村堰の文書を含んでいる。

8 出版および関連資料

羽山久男「畑作村における高知の歴史地理学的考察－徳島県名西郡高原村池北の事例－」『地理科学』第23号1975

タケシ

竹治家文書（徳島市 コレクション）

1 地名・出所

徳島市南昭和町，故竹治貞夫氏（徳島大学教授，漢学者）収集資料

2 役職・身分

—

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

故竹治貞夫先生が収集していた和書，和書の複製本などを，1998年（平成10）直接徳島県立文書館へ寄贈。

5 数量

658点 内658点公開

6 年代

近世初期～昭和期

7 構造と内容

漢学者である故竹治貞夫氏が収集した，漢籍，和書，詩集等。658点の内原本は379冊，他は複写物を製本しているもの。阿波の漢学・国学に関する和書を多数含む。

8 出版および関連資料

—

タケタ

武田家文書（美馬郡つるぎ町）

1 地名・出所

美馬郡つるぎ町端山（美馬郡東端山村）武田家

2 役職・身分

東端山村庄屋（肝煎），端山村長，武田浦三郎（郷土史家）収集資料

3 来歴

寄託文書（武田家所蔵）

4 伝来

東端山村庄屋武田家に伝来していた文書を1955年（昭和30）徳島県立図書館へ寄託。1990年（平成2）徳島県立文書館へ移管。

5 数量

1,168点 内824点公開

6 年代

1606年（慶長11）～大正期

7 構造と内容

美馬郡つるぎ町，貞光村の南，一字山の北に位置する東端山村の庄屋（肝煎）武田家に伝来した文書。近世文書は1606年（慶長11）貞光谷御検地帳東端山分一円長坂三郎左衛門拜知書抜を始めに，検地帳，棟付帳，年貢上納，幕府巡見使対応，藩主巡見，伊予街道が通る貞光村伝馬加勢役，江戸村役，切支丹宗門改帳，暇証文，御触書控などの村政文書がある。なお東端山は中老長坂三郎左衛門の一円給地であったため，武田家は長く肝煎役であったが，庄屋役への役替を求めた願書がある。その他，解紛記，大西軍記，祖谷山旧記などの貴重な古記録の写本や金銭貸借証文，質地証文などがある。明治以降は東端山村戸長で，後の端山村村長であり，郷土史研究家であった武田浦三郎の収集資料，記録また，家政文書として金銭貸借証文や書簡を含む。

8 出版および関連資料

文書館だより16号3頁，28号7頁，29号3頁，36号6頁，宮本和宏「阿波における封建権力と家」『阿波・歴史と民衆』1981，第4回展示「山村庄屋の役割展－美馬郡西端山村・谷家文書－」図録1992，第25回資料紹介展「歴史の宝箱 Part2 文書館・公文書館の役割」図録2003，宮本和宏「棟付改への抵抗－東端山政所助左衛門－」『徳島県立文書館研究紀要』創刊号1997，松本博「美馬郡東端山武田家文書『御触帳』目録（一）」『徳島県立文書館紀要』第3号2002，松本博「美馬郡東端山武田家文書『御触帳』目録（二）」『徳島県立文書館紀要』第4号2003，日野善雄「近世期の「捨子」救済政策」『高橋啓先生退官記念論文集 地域社会史への試み』2004，第31回企画展「江戸時代阿波の交通制度 暮らしとみち」図録2006，町田哲「近世阿波山村の名と「壺家－小家」関係の特質－美馬郡東端山の村落秩序－」後藤雅知・吉田伸之編『山里の社会史』山川出版2010，丸山彦彦「阿波山間部の名と名連合－東端山における住民集団・肝煎・給人－」『史窓』44号2014，文書館の逸品展「端山に見る山間庄屋の展開」図録2015，第52回企画展「描かれた阿波の人物」図

録2015, 『徳島県南海地震史料集』2017, 丸山幸彦『祖谷山旧記・忌部神・予章記考－四国の近世社会から見た中世・古代－』2020

タニケ

谷家文書（美馬郡つるぎ町）

- 1 地名・出所
美馬郡つるぎ町端山（美馬郡西端山村）谷家
- 2 役職・身分
西端山村庄屋・一領一疋
- 3 来歴
寄贈文書
- 4 伝来
西端山村庄屋谷家に伝来していた文書を1955年（昭和30）徳島県立図書館へ寄贈。1990年（平成2）に徳島県立文書館へ移管。
- 5 数量
841点 内764点公開
- 6 年代
1658年（明暦4）～大正期
- 7 構造と内容
美馬郡つるぎ町、貞光村の南、一字山の北に位置する西端山村の庄屋谷家に伝来した古文書。近世の文書は、1658年（明暦4）西端山夫役帳を始めとする棟付帳、検地帳、土地証文、暇証文、年貢上納、宍料年貢、切支丹宗門改、用水、藩主巡見、貞光村から一字村古見に抜けるおささや道の整備・改修に関する村政文書と、谷家の持つ身居である一領一疋に関する文書や由緒書、書簡、金銭貸借証文などの家政文書がある。その他、幕末期に組頭庄屋役を務めた時期の御触書控や、未遂であるが維新期の高松討伐の記録、庚午事変の記録等も含まれている。明治期には、西端山組頭、里長、村長であった谷幸三郎の記録として伍長組の編成や地租改正に関する文書がある。また、所在地で争いがあった忌部神社の資料も含んでいる。
- 8 出版および関連資料
文書館だより4号6頁、26号6頁、36号6頁、第20回企画展「阿波の古文書パート1 棟付帳」図録2000, 第23回資料紹介展「阿波の古文書パート1 訴状・裁判文書」図録2002, 第27回企画展

「褒められた人々－江戸時代阿波の褒状－」図録2003, 第31回企画展「江戸時代阿波の交通制度 暮らしとみち」図録2006, 特別企画展「庚午事変の群像」図録2007, 特別企画展「暮らしの中の吉野川」図録2010, 文書館の逸品展「江戸時代阿波人の見た世界地図・日本地図」図録2011, 文書館の逸品展「端山に見る山間庄屋の展開」図録2015

チヨウ※

長谷寺文書（鳴門市）

- 1 地名・出所
鳴門市撫養町（板野郡木津村）長谷寺
- 2 役職・身分
寺院・駅路寺・木津金刀比羅神社別当
- 3 来歴
寄託文書（長谷寺所蔵）
- 4 伝来
木津村長谷寺に伝来していた文書を、直接徳島県立文書館へ寄託を受けた。
- 5 数量
6,966点 内1,176点公開
- 6 年代
1588年（天正16）～昭和期
- 7 構造と内容
板野郡木津村（鳴門市撫養町木津）の旧撫養街道沿いにある長谷寺に伝来した文書。この文書の内約6,000点は、包紙・帳簿・書簡等の断簡である。近世文書は600点ほどあり、藩政初期に藩から設定された駅路寺に関する史料を始め、寺の由緒や伽藍の造営、棟付帳、門前の御免許新町に関わる文書など寺院経営についての文書等が多い。その他寺の由緒書や郡代等藩の役人との往復書簡の御用留である公用書控などがある。近代文書には、土地・財産関係の文書が多い。
- 8 出版および関連資料
小塩裕光『長谷寺』上巻1981, 中巻, 下巻, 文書館だより40号6頁, 文書館の逸品展「駅路寺 長谷寺の古文書」図録2018

ツツイ

筒井家文書（吉野川市鴨島町）

1 地名・出所

吉野川市鴨島町（麻植郡鴨島町）筒井製糸株式会社関係文書

2 役職・身分

筒井製糸工場関係

3 来歴

寄託文書（筒井家所蔵）

4 伝来

鴨島町筒井製糸工場の文書。横浜市史編纂室にて資料整理され筒井家に返却されていたものを、2013年（平成25）に徳島県立文書館へ直接寄託。

5 数量

667点 内663点公開

6 年代

1913年（大正2）～昭和30年代

7 構造と内容

麻植郡鴨島町鴨島の鴨島駅北にあった筒井製糸所（後の筒井製糸株式会社）が所蔵していた文書。1913年（大正2）の諸勘定元帳を始めに、金銭出納簿、製品販売内訳簿、原料繭元帳等の諸帳簿や、株式会社としての予算書や営業報告、来信留等の基礎的な文書がある。また、製糸業組合や戦時統制下、戦後復活等の文書もある。

8 出版および関連資料

上山和雄「筒井製糸と四国蚕糸業」『市史研究よこはま』1989、文書館だより36号4頁、第50回企画展「徳島の養蚕と製糸」図録2014

ツユク

露口家文書（那賀郡那賀町）

1 地名・出所

那賀郡那賀町（旧相生町）花瀬（那賀郡花瀬村）露口家

2 役職・身分

林方目付

3 来歴

寄託文書（露口家所蔵）

4 伝来

那賀郡花瀬村林目付の露口家に伝来していた文書を徳島県立文書館に直接寄託。2007年（平成19）寄託契約。

5 数量

1,190点 内1,103点公開

6 年代

1357年（延文2）～大正期

7 構造と内容

那賀川上流、那賀郡花瀬村露口家に伝来した文書。1357年（延文2）木地引免状は、全国の山間部に写が伝播しているもので、これを始め、近世初期までの文書写がある。露口家は寛文期以前から御林制道方を勤め、木頭・木沢などの山林地帯を控え、藩直轄の御林山を持つ那賀奥の御林目付を勤めていた。一時花瀬村の肝煎を兼帯していることもあったが、幕末に至るまで御林目付であった。御林目付の仕事として、御林の山林・御用木管理・木材・薪の売買・炭・椎茸等の文書がある。また、四国遍路、伊勢参りの道中記などがある。明治期には、里長補・里長・戸長を勤め御触控帳・辞令などその関係文書、徳島県内で初期に刊行された1874年（明治7）の徳島新聞が4部含まれている。

8 出版および関連資料

文書館だより28号3頁、町田哲「近世後期における徳島藩御林と請負－那賀川中流域を事例に－」『鳴門史学』第26集2012、町田哲「近世前期徳島藩の御林と御林番人」『史窓』第43号2013、第36回企画展「近代阿波の養蚕－藍から繭へ－」2009、文書館の逸品展「山の産業」図録2019、『徳島県立文書館水害史料集』2021

テスカ

手束家文書（阿波市）

1 地名・出所

阿波市柿原（阿波郡柿原村）手束家

2 役職・身分

商家・地主

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

柿原村手束家に伝来していた文書を、1988年（昭和63）直接徳島県立文書館開設準備室へ寄贈。

5 数量

871点 内854点公開

6 年代

1851年（嘉永4）～昭和期

7 構造と内容

吉野川の中流域、阿波郡柿原村手束家に伝来した文書。近世文書は4点で金銭貸借証文である。明治期は、小作地主、金銭貸借などの経営文書が中心で、さらに明治後期からの産業資料として桑園や養蚕の経営に関する文書を含んでいる。

8 出版および関連資料

—

テラオ※

寺岡家文書（徳島市国府町）

1 地名・出所

徳島市国府町寺岡家

2 役職・身分

板西警察署長

3 来歴

寄託文書（寺岡家文書）

4 伝来

徳島市国府町寺岡家より直接徳島県立文書館が預かり、寄託契約を結ぶ。

5 数量

3点 内3点公開

6 年代

1917年（大正6）～1920年（大正9）

7 構造と内容

大麻町板東（現鳴門市）にあった板東俘虜収容所の前に立っていた板西警察分署の警備警察官出張所の立哨警察官による日報綴りである1917年（大正6）と1918年（大正7）の「雑書編冊」と、1920年（大正9）頃作られた「板東俘虜収容所沿革史」から成る。

8 出版および関連資料

文書館だより39号4頁、高田美穂「板東俘虜

収容所の「特殊俘虜」についての一考察』『鳴門史学』第29集2015、「板東俘虜収容所の経済構造とドイツ社会との関係に関する一考察』『史窓』第46号2016

テラト

寺戸家文書（徳島市）

1 地名・出所

徳島市寺戸家（稲田家文書）

2 役職・身分

武家（中老稲田勘解由家か）

3 来歴

寄託文書

4 伝来

寺戸家に伝来した文書を2001年（平成13）に直接寄託。同年寄託契約。

5 数量

20点 内20点公開

6 年代

1658年（万治元）～幕末期

7 構造と内容

稲田本家である九郎兵衛家（家老）及び稲田勘解由家（中老）の成立書並系図がある。1658年（万治元）の文書は稲田忠兵衛（3代勘解由）が蜂須賀光隆から賜った知行宛行状である。このほか稲田勘解由の家来一覧や稲田家分家の系図、幕末・明治維新期の写本等を含んでいる。

8 出版および関連資料

宇山孝人「二つの「一国一城令」と阿波九城の終焉をめぐる」『徳島県立文書館研究紀要』第6号2014

ナカサ

中財家文書（徳島市）

1 地名・出所

徳島市川内町大松（板野郡大松村）中財家（近藤家）

2 役職・身分

板野郡大松村庄屋、藍方床改役、藍検査役

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

中財家に伝来していた文書を直接徳島県立文書館に寄贈。

5 数量

475点 内472点公開

6 年代

1602年（慶長7）～昭和期

7 構造と内容

徳島市川内町の北部、大松村の中財家（1870年（明治3）までは近藤家）の文書。近世文書は1602年（慶長7）の大松村新開検地帳写を始め、検地帳・棟付帳・年貢上納・川成引帳などの村政文書が含まれる。その他近藤基之助が勤めていた床改役など藍関係や基之助が著した1854年（嘉永7）の地震記録が含まれている。明治期には中財基四郎が藍検査役となり、藍・すくもの流通に関する文書や藍寝床の貸借証が近隣の村から集まってきている。

8 出版および関連資料

文書館だより30号7頁、33号3頁、第25回企画展「阿波の古文書パート3 近世社会を創出した文書検地帳」図録2002、第45回企画展「吉野川と阿波藍」図録2021、第28回企画展「資料に見る徳島の自然災害」図録2004、特別企画展「知ろう学ぼう記録資料に見る南海地震」図録2016、『徳島県南海地震史料集』2017、第60回企画展「藍を作り藍を売る－阿波の主産業・藍－」図録2020

ナカセ※

中瀬家文書（徳島市川内村）

1 地名・出所

徳島市川内町（板野郡平石村）

2 役職・身分

川内村長

3 来歴

購入文書

4 伝来

2006年（平成18）に徳島県立文書館が古書店より直接購入。

5 数量

1,088点 内1,011点公開

6 年代

1798年（寛政10）～昭和初期

7 構造と内容

近世文書は6点。質地証文の外に平石村の成立についての文書を含む。史料の中心は近代文書で、特に明治中期に川内村長であった中瀬儀平の関係文書が多い。川内村の行政や学校関係の資料が含まれており、特に1892年（明治25）の水害について『明治25年海嘯洪水被害顛末記』を著している。原稿も含め関係資料もある。

8 出版および関連資料

文書館だより38号6頁、文書館の逸品展「公文書に見る徳島の風水害」図録2020

ニイケ

新居家文書（コレクション）

1 地名・出所

徳島市

2 役職・身分

藩儒者新居水竹・敦二郎関係文書ほか

3 来歴

購入文書

4 伝来

1999年（平成11）古書店より徳島県立文書館が購入。

5 数量

63点 内63点公開

6 年代

1815年（文化12）～大正期

7 構造と内容

徳島藩の儒者である新居水竹・その子敦二郎の関係文書およびその他のコレクション文書である。1829年（文政12）水竹の「遊山記」（漢文の備忘録）、敦二郎（湘江）の履歴書、漢詩文、書簡等の外に、敦二郎が北海道で官吏をしていた時代の文書なども含まれている。その他幕末から明治にかけての番付表、阿波関係の和本などがある。

8 出版および関連資料

特別企画展「庚午事変の群像」図録2007

ニイ 2

新居水竹関係文書（コレクション）

1 地名・出所

徳島市

2 役職・身分

儒者新居水竹・敦二郎関係文書

3 来歴

複製文書（徳島文理大学附属図書館所蔵・マイクロフィルム）

4 伝来

徳島文理大学が購入し現在は徳島文理大学付属図書館が所蔵している文書をマイクロフィルム化し所蔵。

5 数量

957点 内957点公開

6 年代

1789年（寛政元）～昭和期

7 構造と内容

徳島藩の儒者である新居水竹・その子敦二郎の関係文書、まず新居水竹の文書としては、1789年（寛政元）の文書は「藍方御代官一巻」で、徳島藩産業の主力である藍方に関する記録の写しである。この他「撫養塩田誌」、ロシアに抑留された高田屋嘉兵衛一件の記録などの写本がある。また、1846年（弘化3）から、新居水竹が庚午事変で切腹をする1870年（明治3）までの漢文調の日記「水竹居日記」がある。その他水竹自身の書簡、柴秋邨から水竹に宛てられた書簡、漢詩文集など徳島の幕末維新时期を語る貴重な文書が多数含まれている。敦二郎（湘江）の文書としては、敦二郎の日記が断続的に残されているほか、父水竹等との書簡がある。そのほか圧倒的に漢詩に関する資料が多いが、徳島の自由民権運動の中で起きた自助社通論書事件に関する文書や、後に赴任した北海道、徳島中学校に関わる文書なども含まれている。

8 出版および関連資料

特別企画展「庚午事変の群像」図録2007

ニシサ

西崎家文書（阿南市 コレクション）

1 地名・出所

阿南市桑野町西崎憲司氏コレクション（勝浦郡坂野村肝煎森家文書他）

2 役職・身分

—

3 来歴

寄託文書（西崎家所蔵）

4 伝来

西崎憲司氏のコレクション文書を1991年（平成3）に徳島県立文書館が直接寄託を受け、2002年（平成14）寄託契約。

5 数量

2,743点 内2,626点公開

6 年代

1655年（明暦元）～昭和期

7 構造と内容

西崎家文書は、阿南市西部、旧土佐街道沿いの桑野町西崎家でコレクションされた文書である。近世文書の主体は、小松島市南東部の那賀郡坂野村の肝煎森家（後に組頭庄屋、さらに若槻家と改姓）である。坂野村肝煎森兼助、組頭庄屋森孫太郎、組頭庄屋森弥兵衛、庄屋若槻富太郎の各代の年貢上納、勸農普請などの村政文書や金銭貸借、土地証文、年貢船積切手などがある。その外、明治・大正期の教科書や引き札、戦前の紙芝居などが含まれる。

8 出版および関連資料

文書館だより22号6頁、28号3頁、32号1頁、第23回資料紹介展「阿波の古文書パート2 訴状・裁判文書」図録2002、第31回企画展「江戸時代阿波の交通制度 暮らしとみち」図録2006、文書館の逸品展「西崎家文書」図録2009

ニユウ

入田村文書（徳島市）

1 地名・出所

徳島市入田町（名西郡入田村）

2 役職・身分

—

3 来歴

購入文書

4 伝来

古書店より徳島県立文書館が直接購入。

5 数量

212点 内212点公開

6 年代

1705年（宝永2）～明治前期

7 構造と内容

徳島市西部、名西郡入田村の文書群。田畠の質地証文が中心。入田村取立高橋甚右衛門の関係文書が多いようである。また、他村の切支丹宗門帳、仕切書、田畠質地証文等が含まれている。

8 出版および関連資料

—

ハチス

蜂須賀家文書（静岡県熱海市）

1 地名・出所

徳島藩主蜂須賀家、静岡県熱海市別邸所蔵資料

2 役職・身分

徳島藩主、侯爵

3 来歴

寄託文書

4 伝来

熱海市にあった蜂須賀家別邸に残されていた文書を、1979年（昭和54）徳島県立図書館へ寄託。1990年（平成2）に徳島県立文書館へ移管。

5 数量

1,543点 内1,055点公開

6 年代

1350年（正平5）～昭和期

7 構造と内容

静岡県熱海市にあった蜂須賀家別邸に残されていた文書、書簡、辞令、教育などの家政文書が多い。その他、一部藩士等から文書を借り上げて作成したと思われる中世文書（菅生文書の繪旨等）・近世初期の感状・宛行状等の写し（一部原本）がある。また、蜂須賀家の系図や由緒書、蜂須賀家に関する諸記録、印譜、漢籍などを含む。

8 出版および関連資料

第9回所蔵資料紹介「阿波ゆかりの年賀状」1994、第16回企画展「徳川慶喜と蜂須賀家 慶喜、娘への手紙」図録1998、第27回企画展「褒められた人々－江戸時代阿波の褒状－」図録2003、町田哲「寺沢六右衛門－近世前期阿波の山請けと分一－」『史窓』第46号2016、第56回企画展「明治150年 徳島の古文書で見る明治維新」図録2018、『徳島県立文書館水害史料集』2021

ハハケ

馬場家文書（三好市）

1 地名・出所

三好市辻（三好郡辻町）馬場家

2 役職・身分

郷医師

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

辻町の郷医師馬場家に伝来していた文書を、徳島県立文書館へ直接寄贈。

5 数量

267点 内264点公開

6 年代

1733年（享保18）～昭和期

7 構造と内容

吉野川中流南岸の河港、辻町の郷医師であった馬場家の文書群。近世文書は金銭貸借証文、土地証文等の家政文書と、新居水竹、岩本贅庵ら儒者との交流を示す漢詩書などがある。近代文書は辞令等が主だが、徳島県脇町出身の将棋名人、小野五平からの免状が残されている。

8 出版および関連資料

—

ハント

坂東家文書（名西郡石井町）

1 地名・出所

名西郡石井町高川原（名西郡高川原村）坂東家

2 役職・身分

—

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

高川原村坂東家に伝来していた文書を、徳島県立文書館へ直接寄贈。

5 数量

131点 内131点公開

6 年代

1712年（正徳2）～明治中期

7 構造と内容

近世中期から明治期にかけての和本及び漢籍類。

8 出版および関連資料

文書館だより33号6頁

ハン2※

坂東家文書（徳島市川内町）

1 地名・出所

徳島市川内町（板野郡宮島浦・小松新田）坂東家

2 役職・身分

宮島浦商人・小松新田会所後見人坂東家

3 来歴

購入文書

4 伝来

古書店より直接徳島県立文書館が購入。

5 数量

126点 内125点公開

6 年代

1713年（正徳3）～明治期

7 構造と内容

吉野川河口左岸の宮島浦坂東家と、坂東家が開発に参加していた小松新田の関係文書。小松新田の普請や経営に関する文書と共に、坂東家の藍商として藍など物産の売買や那賀郡答島の塩浜、坂東家の藍などの売買に関する経営文書や、家政文書を含む。

8 出版および関連資料

文書館だより38号6頁

ハン3※

坂東家文書（徳島市川内町）

1 地名・出所

板野郡宮島浦・小松新田（徳島市川内町）坂東家

2 役職・身分

宮島浦商人・御銀主・小高取・小松新田会所後見人坂東家

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

徳島県立図書館に寄贈されていたものを、1990年（平成2）徳島県立文書館に移管。

5 数量

2,820点 内2,715点公開

6 年代

1764年（明和元）～明治期

7 構造と内容

吉野川河口左岸の宮島浦坂東家と、坂東家が開発に参加していた小松新田の関係文書。小松新田の年貢帳簿や金銭出入帳などの経営帳簿をはじめとして小松新田会所の関係資料がある。また、宮島浦の藍商鈴屋としての商家経営文書も含まれる。

8 出版および関連資料

外園英彦「近世後期における阿波商家の支店運営－藍商鈴屋「坂東家文書」書簡より－」『徳島県立文書館紀要』第3号2002, 文書館だより39号7頁, 40号6頁, 41号7頁, 『徳島県南海地震史料集』2017, 第59回企画展「富岡の豪商吹田家」図録2019

フキタ※

吹田家文書（阿南市富岡）

1 地名・出所

阿南市富岡（那賀郡富岡町）

2 役職・身分

富岡町商人・御銀主役・本陣役・郡付浪人

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

阿南市富岡の吹田家に伝来していた文書のう

ち文書類の一部は阿南市史編纂室に預けられていたが、残存分を含め所蔵していた文書のほとんどを直接徳島県立文書館に寄贈。

5 数量

10,509点 内10,099点公開

6 年代

1604年（慶長9）～昭和前期

7 構造と内容

阿波国南部の中心的な郷町である那賀郡富岡町の代表的な商人吹田家文書。屋号は熊野屋。那賀川下流域は、藩の穀倉地帯である。近世文書は米穀・酒造・材木等の売買に関する文書および地主関係の文書が中心である。特に米穀は年貢米麦の管理なども行っていたため多い。また、和書も多く含む。江戸時代初期は、藩家老賀島家の配下にあっただが、1774年（安永3）藩から御銀主役を命じられ、自宅は藩の御用商人として、藩主らが南部へ鷹狩りや視察に訪れる際の本陣として使用された。近世から近代にかけて、ほぼ村役人などには就任せず、商人としての活動を続けている。

8 出版および関連資料

文書館だより35号6頁、41号4頁、『徳島県南海地震史料集』2017、第59回企画展「富岡の豪商 吹田家」図録2019

フシク

藤倉家文書（鳴門市）

1 地名・出所

鳴門市北灘町栗田（板野郡栗田村）藤倉家

2 役職・身分

栗田村庄屋

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

栗田村庄屋藤倉家に伝来した文書を、2000年（平成12）徳島県立文書館へ直接寄贈。

5 数量

1,292点 内1,277点公開

6 年代

1674年（延宝2）～昭和期

7 構造と内容

徳島県の北端、瀬戸内海に面した北灘8か村の内中央部（やや東部）にある栗田村庄屋藤倉家に伝来した文書。近世文書約700点は、年貢上納、御膳米の管理、行き倒れ遍路への対応などの村政文書と、漁業（ナマコ漁・建網漁・ハマチ漁他、魚口運上銀や漁場出入等）、林業（薪・松葉・御用木等）、松茸、大坂廻船など北灘地区の海山の産業に関する文書を含む。また明治後期に成立し、藤倉家が組合長を務めていた北灘村漁業協同組合の文書が260冊ほどある。その他1793年（寛政5）郡奉行による異国船対応の制札などがある。近代資料としては、明治後期に作られ、藤倉虎太郎が組合長となった北灘漁業組合に関する文書がまとまって残されている。

8 出版および関連資料

『鳴門市史』上巻1976、文書館だより33号7頁、文書館の逸品展「庄屋文書から見た北灘の海と山－栗田村藤倉家文書－」図録2011、第54回企画展「徳島の塩業」図録2016

フルカ※

古川家文書（徳島市）

1 地名・出所

徳島市古川家文書

2 役職・身分

藩家老賀島家馬医、侍医

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

徳島市の古川家に伝来した文書を直接徳島県立文書館へ寄贈を受ける。

5 数量

731点 内731点公開

6 年代

1583年（明朝万曆癸未）～明治期

7 構造と内容

古川家に伝来した、和本および漢籍。医学書を中心としている。この外に、未整理の写本の医学書や書簡類がある。

- 8 出版および関連資料
文書館だより4号4頁, 6頁, 第6回資料紹介展「黎明期の医学書 古川家文書」1993

ホウサ

芳崎村文書（阿南市）

- 1 地名・出所
阿南市那賀川町芳崎（那賀郡芳崎村）
- 2 役職・身分
上分上山村庄屋
- 3 来歴
購入文書, 徳島県立図書館より移管
- 4 伝来
徳島県立図書館が古書店から購入したものを, 1990年（平成2）徳島県立文書館に移管。
- 5 数量
15点 内15点公開
- 6 年代
1622年（元和8）～1782年（天明2）
- 7 構造と内容
阿南市那賀川町今津港の南, 那賀郡芳崎村の文書群, 紀伊水道に面し, 那賀川北岸用水最下流域に位置する。文書は, 近世初期の給人（徳島藩士）別の反別名寄帳, 享保から寛政期の棟付帳関係文書によって成る。
- 8 出版および関連資料
『那賀川町史』上巻

ミハラ

三原家文書（コレクション）

- 1 地名・出所
三原家コレクション
- 2 役職・身分
-
- 3 来歴
寄贈文書
- 4 伝来
三原家のコレクション文書を徳島県立図書館に寄贈。1990年（平成2）徳島県立文書館へ移管。
- 5 数量
34点 内34点公開

- 6 年代
1657年（明暦3）～昭和期

7 構造と内容

那賀郡芳崎村, 阿波郡中野村, 板野郡中村, 板野郡鯛浜村, 板野郡東貞方村, 西貞方村, 麻植郡上浦村などの, 検地帳, 棟付帳, 年貢上納などに関する文書。

8 出版および関連資料

-

ミフネ※

三舟家文書（コレクション）

- 1 地名・出所
徳島市三舟家コレクション
- 2 役職・身分
-
- 3 来歴
寄託文書
- 4 伝来
三舟家のコレクション文書を直接徳島県立文書館へ寄託を受けた。
- 5 数量
98点 内84点公開
- 6 年代
明治末期～昭和初期
- 7 構造と内容
三舟家のコレクション文書。昭和初期の徳島県県議会議事録78冊は, 当時の県議会議員逢坂左馬之助が所持していたもの。また, 明治末期から昭和期の商店や公共機関等のチラシを含んでいる。さらに, 現在は非公開だが, 多数の引き札や看板などの資料がある。
- 8 出版および関連資料

文書館だより40号6頁, 42号2頁, 6頁, 第42回企画展「阿波引き札の世界-三舟コレクションを中心として-」2011, 文書館の逸品展「阿波の引き札2-三舟家コレクション-」2021

ミマケ

美馬家文書（勝浦郡上勝町）

1 地名・出所

勝浦郡上勝町瀬津（勝浦郡瀬津村）美馬家

2 役職・身分

瀬津村庄屋・瀬津村村長

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

瀬津村庄屋美馬家に伝来していた文書。一時徳島県立図書館に寄託されるが、美馬家に返還される。2002年（平成14）美馬家から徳島県立図書館に直接寄贈を受けた。2009年（平成21）寄贈。

5 数量

2,996点 内2,798点公開

6 年代

1682年（天和2）～昭和期

7 構造と内容

上勝町の最西部、勝浦川の源流部に当たる瀬津村の庄屋美馬家に伝来した文書。近世文書は、1682年（天和2）の金銭貸借証文を始め、土地証文などが多い。また、検地帳写、散田下札、村内にある殿川内御林の管理に関する文書、暇証文、博奕の制道など村政文書、郡代などからの布達の廻状が多数ある。また産業として紙製造及び売買の文書がある。明治期には美馬要治が瀬津村里長補、里長となり、勝浦郡内の戸籍編成、地租改正、学事関係、木材の売買などに関する文書がある。

8 出版および関連資料

羽山久男『山村地域の史的展開－徳島県勝浦郡上勝町－』1981、文書館だより30号7頁、32号3頁、特別企画展「歴史資料に見る阿波の人形浄瑠璃」図録2004、特別企画展「阿波人形浄瑠璃－興行のにぎわい－」図録2007、第34回企画展「古文書の中の子ども」図録2008、文書館の逸品展「山の庄屋さん－美馬家文書の世界－」図録2011、第52回企画展「描かれた阿波の人物」図録2015

ムトウ※

武藤家文書（徳島市）

1 地名・出所

徳島市武藤家文書

2 役職・身分

徳島藩士・中老・旗組頭

3 来歴

寄託文書

4 伝来

徳島県立図書館に寄託されていた文書を1990年（平成2）に徳島県立文書館に移管され、寄託文書となる。

5 数量

8,484点 内8,217点公開

6 年代

1614年（慶長19）～明治期

7 構造と内容

徳島藩士、中老武藤家の文書。武藤家は、豊臣秀次の重臣であったという由緒を持ち、大坂冬の陣直前に藩士に取り立てられたという。その後中老として藩政に関わっていた。近世文書は約3,000点で、藩主書状を始め、御用勤務、年貢収納や給地管理などの家政文書、弓術・槍術などの武術文書、幕末期の日誌など幅広い文書が残る。また、近代文書としては、明治期の家政文書として、蜂須賀牛乳店、津田魚揚場、普通新聞社などの経営関係の文書とともに、金銭貸借関係の文書を含んでいる。

8 出版および関連資料

文書館だより38号1頁、6頁、39号3頁、5頁、42号7頁、特別企画展「知ろう学ぼう記録資料に見る南海地震」図録2016、第55回企画展「蜂須賀家家臣と拝領地－武藤家文書を中心に－」2017、第56回企画展「明治150年 徳島の古文書で見る明治維新」図録2018、第58回企画展「阿波へ異国船がやってきた」図録2019、西本沙知子「御旗の者の戊辰戦争出征報告書について－武藤家文書「御旗一卷并組御旗之者江申付方諸事手控より－」『徳島県立文書館研究紀要』第8号2021

モトキ

元木家文書（名西郡石井町）

1 地名・出所

名西郡石井町高原（名西郡高原村）元木家加登屋（かどや）

2 役職・身分

商家（藍商）

3 来歴

寄託文書（元木家所蔵）

4 伝来

高原村の商家元木家に伝来した文書を2006年（平成18）徳島県立文書館に直接寄託契約。

5 数量

31点 内31点公開

6 年代

1808年（文化5）～1859年（安政6）

7 構造と内容

かど屋（元木家）卯三郎の近世後期の日記3冊と五社宮一揆について書かれた「高原村五社一卷」1冊，その他和本27冊からなる。

8 出版および関連資料

文書館だより34号3頁，松本博「幕末徳島藩における民衆的世界の形成－地方文書に見る城下周辺の動向－」『三好昭一郎先生古希記念論集 社会と信仰 阿波からの視点』1999，特別企画展「歴史資料に見る阿波の人形浄瑠璃」図録2004，特別企画展「庚午事変の群像」図録2007，第34回企画展「古文書の中の子ども」図録2008，特別企画展「暮らしの中の吉野川」図録2010，阿部聡美「『加登屋日記』に見る民衆の娯楽」『徳島県立文書館紀要第5号』2005，特別企画展「知ろう学ぼう記録資料に見る南海地震」2016，文書館の逸品展「古文書が語る石井の歴史」図録2017，『徳島県南海地震史料集』2017，第60回企画展「藍を作り藍を売る－阿波の主産業・藍－」図録2020，文書館の逸品展「史料に見る自然災害Ⅰ」図録2021，『徳島県立文書館水害史料集』2021

モリ3

森英雄家文書（小松島市）

1 地名・出所

小松島市和田島（那賀郡和田島村）森家

2 役職・身分

和田島村庄屋

3 来歴

寄託文書（森家所蔵）

4 伝来

和田島村の庄屋森家に伝来した文書を2008年（平成20）に徳島県立文書館が直接預かる。2013年（平成25）寄託契約。

5 数量

4,544点 内4,501点公開

6 年代

1603年（慶長8）～明治期

7 構造と内容

小松島湾の東，紀伊水道に突き出た半島である那賀郡和田島村の庄屋森家に伝来した文書群。近世文書は，1603年（慶長8）の新開検地帳を始めとする，検地帳，棟付帳，年貢上納，用水・大手堤等の勸農普請，宝永，寛政，安永地震への対応，幕府巡見使，幕府の海岸測量（伊能忠敬による），藩主巡見・鷹狩りへの対応等の村政文書が中心である。また，鱧（ハモ）の好漁場が近くにあり，淡路の沼島，対岸の泉佐野・紀州などからも出漁してきていたため，地元漁民を含めての漁場をめぐる争いや，魚口銀に関する文書，幕府の年貢米を積んだ「御城米船」の風待ちによる和田島入港に関する文書，紀伊水道を通る船の難船に関わる文書，土佐から長崎へ回航される中国の難破船に関わる文書など海に関する文書は多い。さらに，間ノ新田の開発や徳島城への庭木献上，神社の勧進や祭祀，1814年（文化11）和田島村・間ノ新田分間図の原本などがある。由緒書に近世初期以来の文書は焼けたとあるが，多彩な文書群である。

8 出版および関連資料

文書館だより33号6頁，35号7頁，文書館の逸品展「和田島の庄屋森家文書」図録2014，古文書を読む会1，6，7班『史料集2和田島村森家文書難船一卷』2004，文書館の逸品展「資

料に見る徳島の食」図録2014, 第52回企画展「描かれた阿波の人物」2015, 特別企画展「知ろう学ぼう記録資料に見る南海地震」図録2016, 『徳島県南海地震史料集』2017, 文書館の逸品展「阿波の干拓新田-新田絵図を中心に-」図録2018, 第58回企画展「阿波へ異国船がやってきた」図録2019, 鈴木直樹「宝永地震後の復旧・開発過程と地域社会-阿波国那賀郡和田島村を事例に」『近世村の生活史 阿波・淡路の村と人』2020, 第63回企画展「住吉村組頭庄屋山田家と吉野川」図録2021, 板東英雄「阿州和田島へやってきた「御城米船」-庄屋森家文書を中心として-」『徳島県立文書館紀要第8号』2021

モリタ

森田家文書（那賀郡那賀町）

- 1 地名・出所
那賀町拝宮森田家
- 2 役職・身分
小学校教員
- 3 来歴
寄贈文書
- 4 伝来
那賀郡拝宮の森田家に伝来した文書を2011年（平成23）に徳島県立文書館が直接預かる。
- 5 数量
114点 内114点公開
- 6 年代
1820年（文政3）～昭和期
- 7 構造と内容
那賀川の上流域, 那賀郡拝宮の森田家に伝来した文書群。幕末期から明治期にかけての浄瑠璃本と, 徳島県師範学校を卒業後小学校教員となった森田昭憲の関係資料が含まれている。戦中の師範学校での生活や戦後直後の教科書や学習指導案などがある。
- 8 出版および関連資料
-

ヤマコ

山腰家文書（阿南市）

- 1 地名・出所
阿南市大潟町（那賀郡答島村）山腰家
- 2 役職・身分
答島村郷鉄砲, 川口御番人, 橘浦魚分一所, 商人
- 3 来歴
寄贈文書
- 4 伝来
答島村山腰家に伝来した文書を徳島県立文書館に直接寄贈。
- 5 数量
76点 内75点公開
- 6 年代
1819年（文政2）～幕末期
- 7 構造と内容

阿南市東部の紀伊水道に面した港を持つ答島村郷鉄砲山腰家に伝来した近世後期の文書。答島村にあった塩田と塩の運送, 造酒, 藍玉の廻送などの商家文書と, 船付新田の大手堤破損に関わる普請に関わる村政文書が含まれている。

- 8 出版および関連資料
文書館だより37号4頁, 第28回企画展「資料に見る徳島の自然災害」図録2004, 第54回企画展「徳島の塩業」図録2016, 特別企画展「知ろう学ぼう記録資料に見る南海地震」図録2016, 『徳島県南海地震史料集』2017

ヤマ2※

山田家文書（板野郡藍住町）

- 1 地名・出所
板野郡住吉村（板野郡藍住町）山田家
- 2 役職・身分
住吉村組頭庄屋
- 3 来歴
寄託文書
- 4 伝来
鳴門市在住の山田家から直接徳島県立文書館へ寄託を受ける。
- 5 数量
5,015点 内4,771点公開

6 年代

1604年（慶長9）～明治期

7 構造と内容

板野郡住吉村の組頭庄屋山田家の文書。山田家は、住吉城主であったとされ、近世初期から代々組頭庄屋を務めていたものと思われる。残存している文書は中期以降である。山田家の管轄する住吉組の村々は、住吉村・奥野村・吉成村・成瀬村・東中富村・西中富村・東貞方村・西貞方村・勝瑞村・乙瀬村・矢上村・笠木村・中原村・竹瀬村の13か村で、吉野川中下流域の中島と呼ばれる藍作中心地であった。吉野川の護岸普請などを始め、各種調査報告など村域を越える課題も多く、組頭庄屋として対処・作成した文書が多く残されている。特に広域の訴訟や勸農普請事業、幕府天文方（伊能忠敬）、巡見使、平島公方対処、異国船対処、地誌「阿波志」の編纂事業などへの行政的な資料が残されている。その他、近世から明治にかけての造酒業や油稼業、小作地主などの家政文書を含んでいる。

8 出版および関連資料

第45回企画展「吉野川と阿波藍」図録2021、文書館の逸品展「資料に見る徳島の食」図録2014、第56回企画展「明治150年 徳島の古文書で見る明治維新」図録2018、文書館の逸品展「史料に見る自然災害Ⅰ」図録2021、『徳島県立文書館水害史料集』2021、第63回企画展「住吉村組頭庄屋山田家と吉野川」図録2021

コシタ※

吉田家文書（徳島市）

1 地名・出所

徳島市

2 役職・身分

商人・藩商法方

3 来歴

購入文書

4 伝来

2016年（平成28）に古書店から直接購入。

5 数量

11点 内11点公開

6 年代

近世末期～明治初期

7 構造と内容

明治初期の徳島藩商法方の記録を中心に、布告の写しなどを含む。

8 出版および関連資料

文書館だより38号7頁

ヨシモ

吉守家文書（勝浦郡勝浦町）

1 地名・出所

勝浦郡勝浦町黄檗（勝浦郡黄檗村）吉守家

2 役職・身分

修験者

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

修験者であった吉守家に伝来した文書を徳島県立文書館に直接寄贈。

5 数量

96点 内96点公開

6 年代

1605年（慶長10）～昭和期

7 構造と内容

近世期の経典類・屋敷見取図のほか勝浦郡黄檗村の棟附帳の写が含まれる。

8 出版および関連資料

-

ワタナ

渡辺家文書（板野郡藍住町）

1 地名・出所

板野郡藍住町徳命（板野郡徳命村），徳島城下，渡辺家

2 役職・身分

藩士

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

徳島藩士渡辺家に伝来した文書を1989年（平成元）徳島県立文書館開設準備室に直接寄贈。

5 数量

362点 内256点公開

6 年代

1594年（文禄3）～昭和期

7 構造と内容

近世文書は渡辺家の初代七右衛門が賜った蜂須賀家政の宛行状を初めとして、拝知高物成帳・家屋敷相改帳など支配や由緒に関わる文書と、弓術・馬術など武術に関わる文書、書簡などが含まれる。近代文書は、板野郡藍園村（現藍住町）の助役であった渡辺国吉関係文書を中心に、親戚であった松岡康毅の書簡などが含まれている。

8 出版および関連資料

第2回展示「蜂須賀家家臣渡辺家資料展」図録1991，第9回所蔵資料紹介「阿波ゆかりの年賀状」図録1994，特別企画展「暮らしの中の吉野川」図録2010

ワタ 2

渡辺（敏）家文書

1 地名・出所

渡辺家

2 役職・身分

—

3 来歴

寄贈文書

4 伝来

渡辺家に伝来した和本を直接徳島県立文書館へ寄贈。

5 数量

57点 内57点公開

6 年代

1690年（元禄3）～1881年（明治14）

7 構造と内容

江戸後期から明治初期にかけて教科書として使用された漢籍類。

8 出版および関連資料

—